

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月21日(金)

事務事業		総合計画推進事業		担当課	企画課	担当係	企画係	管理番号	3151	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市総合計画策定条例					
	小項目	4	行財政運営の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		計画的な市政運営を行うため、深谷市総合計画を策定するとともに、主要プロジェクトの評価を行うことにより、計画に掲げたまちづくり目標の実現を図るものである。								
目的 ※何のために		深谷市総合計画に掲げたまちづくり目標の実現を図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		深谷市総合計画及び主要プロジェクト								
手段 ※どのように		・ 深谷市総合計画の策定 ・ 主要プロジェクトの評価								
成果 ※何を求めるか		深谷市総合計画の策定及び進捗管理を行う。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を 構成する 予算事業	区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額 (円)			
	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	7	企画費	企画調整事務費		3,906,309
本事業の 主な業務	・ 総合計画の策定					・				
	・ 総合計画の進行管理（主要プロジェクトの評価）					・				
	・					・				
	・					・				
	・					・				
	・					・				

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		総合計画後期基本計画の策定総合計画前期基本計画の進行管理	総合計画後期基本計画の進行管理	総合計画後期基本計画の進行管理	総合計画後期基本計画の進行管理		
事業費	予算（現額）	7,865,000	5,142,000	5,922,000	7,920,000		
	決算額	7,239,199	3,906,309	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
	一般財源	7,239,199	3,906,309	5,922,000	7,920,000		
人件費	従事職員数（人）	1.15	0.85	0.75	0.75		
	人件費相当試算※	9,042,121.00	6,808,641.00	6,270,675.00	6,270,675.00		
総事業費試算		16,281,320	10,714,950	12,192,675	14,190,675		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	進行管理を行うプロジェクト の数	目標値	本	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		実績値		5.00	5.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		主要プロジェクトの評価本数						
	実績値の算出式								
成果指標 1	プロジェクト指標の目標達成 率	目標値	%	70.00	50.00	55.00	60.00	65.00	70.00
		実績値		60.00	40.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	目標通り5つの主要プロジェクトすべての進行管理を行うことができた。 進行管理においては、プロジェクトごとに関係課で組織される作業部会の場で取組内容を協議することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	評価指標の目標達成率は40%（10項目中4項目が目標達成）となり、目標である50%を下回った。
			評価者 企画係長 高田 優

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	関係する打合わせや会議では、一部データでの資料配布を活用して運営した。 メールやチャットを活用してデータでの配布を行い、ペーパーレス化を図ることで資料の印刷・配布にかかる時間や費用の削減につなげることができた。
			評価者 企画係長 高田 優

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	主要プロジェクトの推進にあたっては、各主要プロジェクトに作業部会を設置し、各プロジェクトの方向性にそった取組を具体的に決定し推進を図る。また、各主要プロジェクトの取組が効果的効率的に実施できるよう、予算と連携が図られるよう実施方針を定めていく。
達成状況及び その効果	作業部会を設置し、各プロジェクトの方向性にそった取組を具体的に決定できた。

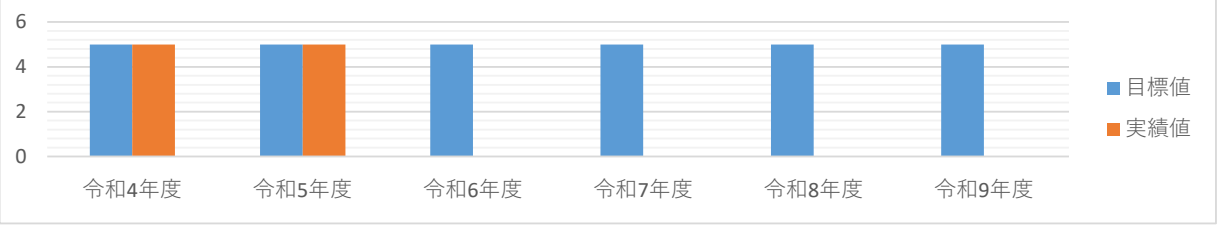
6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	総合計画推進事業	担当課	企画課	担当係	企画係	管理番号	3151
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		総合計画において、先導的かつ重点的に推進すべき取組として位置付けている主要プロジェクトについては、指標の達成に向けて、プロジェクト担当部署と協議を行っているが、今後はより効果的かつ組織横断的な取組となるよう、進行管理方法の検討が必要である。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	企画課長 柴野 晃彦				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	主要プロジェクト進行管理プロセスの見直しを行い、より効果的かつ組織横断的な取組となることを目指す。具体的には検討の場を作業部会方式から、ヒアリング方式に変更し、取組及び組織横断的な取組への効果的な検討及び時期となるよう見直しを行う。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 1	指標名	進行管理を行うプロジェクトの数
			
区分	成果指標 1	指標名	プロジェクト指標の目標達成率
